

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：農林水産業費 項：林業費 目：森林整備費

事業名 森のしごと普及啓発事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

林政部 森林整備課 担い手企画係 電話番号：058-272-1111(内 3197)

E-mail: c11515@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 16,449 千円 (前年度予算額：5,900 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	5,900	0	0	0	0	0	5,900	0	0
要求額	16,449	0	0	0	0	0	16,449	0	0
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

第3期岐阜県森林づくり基本計画において、森林技術者数を令和3年度に1,255人に増加することを目標としている。近年、森林技術者数は平成30年度940人、令和元年度936人と、下げ止まり傾向にあるが、担い手対策は喫緊の課題である。

平成30年度に設置した「岐阜県林業労働力確保支援センター(森のジョブステーションぎふ)」を核に、県内外で開催される就業相談会に参加しており就業相談件数は増えているが、相談から就業までに至った件数は増えていない。相談者数を増加させ、就業前に林業に関する正しい知識を増やし、スムーズな定着が必要である。引き続き、「森のジョブステーションぎふ」に、まずは求職者の林業に対する関心を高めることが必要であり、県内外の様々な職種、年齢層の方に、林業を広く知っていただくための事業を展開する。

(2) 事業内容

林業の担い手確保を図るため、岐阜県の林業の魅力を伝えるための事業を展開する。

① ホームページの維持管理

「森のジョブステーションぎふ」で扱う求人情報や各種セミナーの開催案

内等を情報発信するための専用ホームページの維持管理費。

② 森のしごとキャンパスプロモーション

県内の農林高校、林業系の学部を有する大学等において、岐阜県の林業をPRする広告・説明会等を開催することで、大学生等の就業に繋げる。

③ 普及啓発事業

県内外で開催される就業ガイダンス(相談会)において、林業の仕事内容や求人状況の情報提供等を行うことで、来場者等に岐阜県の林業をPRする。

④ オンライン相談会・森のしごとセミナー・の開催

林業への就業に興味がある方を対象に、現場で働く森林技術者をゲストとした意見交換会(セミナー)を開催し、直接、声を聴くことで、林業への理解をより深め、就業への不安を取除き、就職に結びつけるとともに、コロナ対策としてのオンライン相談会を開催する。

⑤ 林業体感・見学セミナー

林業に興味がある人、就業を希望する人を対象に、「林業」という仕事への理解を深めることを目的として、林業や木材産業等の現地視察、事業体における職場体験ができるセミナー等を開催する。

(3) 県負担・補助率の考え方

補助率 10/10

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	16,449	岐阜県林業労働力確保支援センターへの補助金
合計	16,449	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

第3期岐阜県森林づくり基本計画において森林技術者数の目標を1,255人としている。

(2) 国・他県の状況

国において「緑の雇用」現場技能者育成推進事業を実施。

(3) 後年度の財政負担

後年度においても継続的に補助

(4) 事業主体及びその妥当性

○事業主体：岐阜県林業労働力確保支援センター（岐阜県森林公社）

○妥当性：林業労働力確保支援センターは「林業労働力の確保に関する法律」において、林業労働力の確保を推進するため、各県に1つ設置が位置づけられており、事業主体として適当。

単 独 補 助 金 事 業 評 価 調 書

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

補助事業名	森のしごと普及啓発事業費補助金
補助事業者（団体）	林業労働力確保支援センター（（公社）岐阜県森林公社） （理由）林業労働力の確保に関する法律において、林業労働力の確保を推進するため、設置が位置づけられており、事業主体として適当。
補助事業の概要	（目的）森のしごとについて、広く県民にPRし、林業への理解を深めることで、担い手確保を図る。 （内容）①ホームページ管理、②森のしごとキャンペーン ③普及啓発事業、④就業相談会・森のしごとセミナー、⑤林業体感・見学セミナー
補助率・補助単価等	定額・定率・その他（例：人件費相当額） （内容）10/10 （理由）林業の担い手の確保・育成を推進するため。
補助効果	新規就業者の確保と育成、事業体の経営基盤強化
終期の設定	終期令和3年度 （理由）継続的に支援していくことが必要

（事業目標）

・ 県内の森林技術者数を令和3年度に1,255人まで増やします。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (H30年度末)	目標 (R元年度末)	目標 (終期)
① 森林技術者数	940	1,247	1,255

	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度 (要求)
補助金交付実績	0千円	0千円	8,500千円	(予算額) 5,900千円	(要求額) 16,449千円
指標①目標	1,141	1,238	1,247	1,251	1,255
指標①実績	932	940	936	(推計値)	(推計値)
指標①達成率	82%	76%	75%	(推計値) %	(推計値) %
指標②目標	/	/	/	/	/
指標②実績	/	/	/	(推計値)	(推計値)
指標②達成率	%	%	%	(推計値) %	(推計値) %

(前年度の成果)

- ・新規就業者数は、平成29年度の51人から平成30年度は68人、令和元年度は76人と、ここ数年増加している。
- ・就業相談人数 204人（出張ガイダンス20催事119人＋所内相談85人）

(今後の課題)

- ・森林技術者の安定的な雇用を図り、新規就業者数を増やすため、継続的な支援が必要である。

(事業の評価)

・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い	
(評価) ○	・林業担い手を確保するため、就業前から修業後まで一貫した支援が必要。
・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない	
(評価) ○	・県内の森林技術者数の減少に歯止めがかかりつつある。
・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある	
(評価) ○	・森のジョブステーションぎふは、林業担い手の確保から育成、労働環境の整備を行う県内唯一の機関であり、連携し効率的に実施している。

(事業の見直し検討)

- ・森林技術者の育成については、「100年の森林づくり計画人材育成・技術開発プロジェクト」として重点的に実施する。

(終期到来時の翌年度以降の事業方針)

- 継続**・削減・統合・廃止
(理由)・森林づくり基本計画における森林技術者数を確保していくため、継続して事業を実施していくことが必要。